



川根本町にどんな人が移住してほしいですか？  
また、その人たちを受け入れるために、どんな体制づくりを進めていきますか？

**A** 川根本町を「愛してくれる人」に来てほしい！

最近、「川根本町が好き」という若い世代が、町内企業のインターンシップを利用して移住していると聞きます。町はそんな移住希望者に町の暮らしの情報が届くように情報を発信しつつ、インターンを受け入れる企業側の負担を軽減できるような制度の導入を目指しています。

また、地域の皆さんには行政の手が届かない地域コミュニティの場に移住者を迎え入れてほしいと思います。移住者が地域で取り残されることがないような雰囲気を作ってほしいと思っています。



町長が見据える「川根本町の観光のあり方」と目指すべき  
ゴールはありますか？

**A** ゴールはありません！観光業や商工業などと協力して、豊富な資源を活かした持続可能な発展を目指します。

町にはキャンプ場や温泉施設、ジビエなど多様な観光資源がありますが、町内外にその魅力が十分に伝わっていないと感じます。そこで、それら複数の観光資源の強みをかけ合わせ、他の自治体の先行事例を参考にして、川根本町ならではの観光コンテンツとして発信していきたいと考えています。

また、町営バスなどの既存の公共交通が観光客のために利便性の高い移動手段になれば、町のにぎわいにつながり、川根本町が観光地として選ばれる町になっていくのではと期待しています。

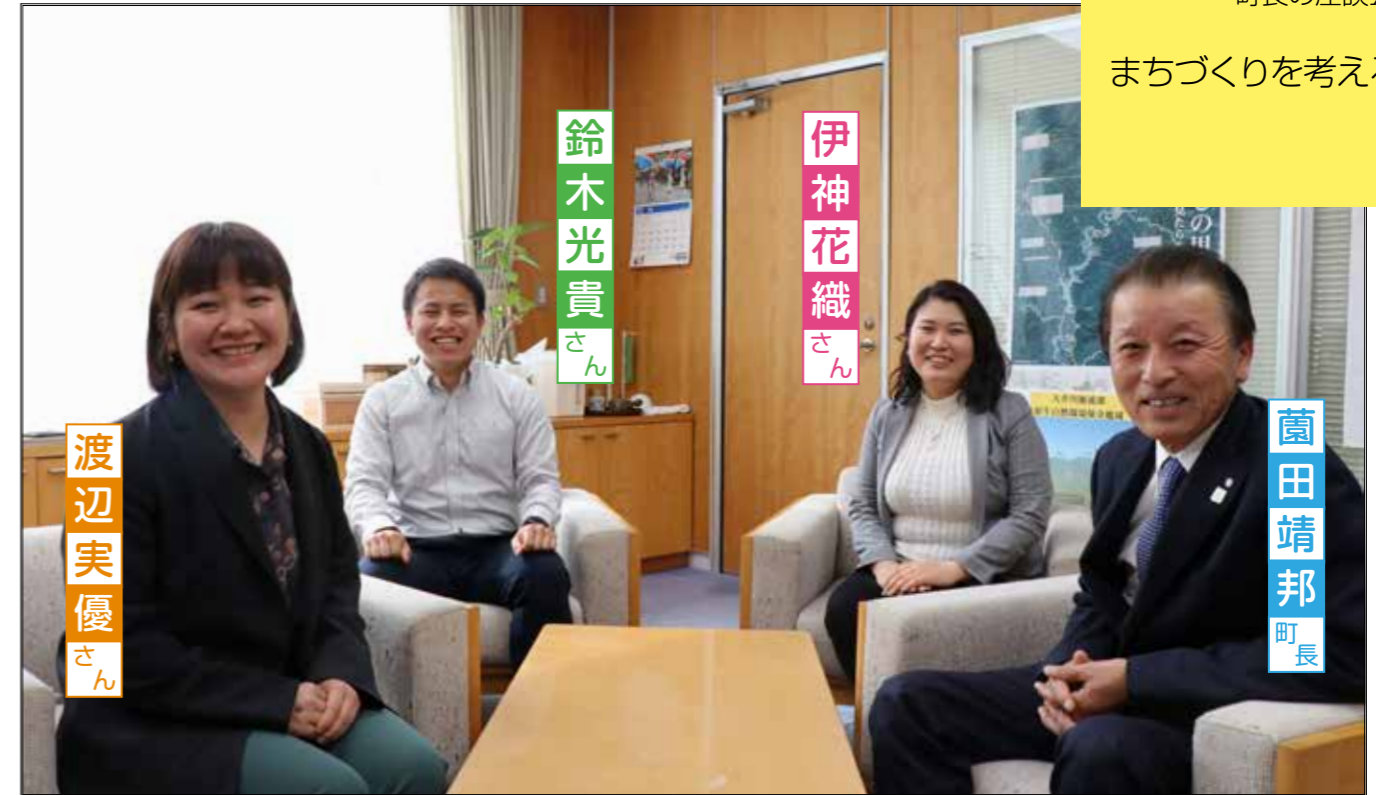


川根本町にいるすべての子どもたちが、町で豊かな時間を過ごすために、町と小中学校、高校が連携して魅力化のビジョンを作ることが必要だと思います。

**A** 学校とコミュニケーションを密にとり、子どもたちや地域にも分かりやすい「魅力化」を目指していきたい！

町の教育の今後のあり方について、幼・保育園や小中学校、高校と意見を交換をする必要があります。川根留学制度や寄宿舎の運営などこれまでの実績や成果を見直し、地域の人たちの声を踏まえながら話し合える機会を作りたいと思っています。

町の宝である子どもたちにとっても、川根本町の教育が魅力的だと感じてもらえるように、町としてできることにもっと挑戦していきたいと思っています。



渡辺実優さん

鈴木光貴さん

伊神花織さん

藺田靖邦町長

## 地域おこし協力隊と 藺田町長の まちづくり座談会

4月11日、町役場で藺田町長と地域おこし協力隊が「川根本町のまちづくり」をテーマに意見交換会を開催しました。地域の中で活動する3人の協力隊は、それぞれが日頃から感じている町の課題に対して町長に提案。協力隊の思いを聞いた町長は「町の未来に協力隊の活動は必要不可欠。地域を巻き込んだ活動を続けてほしい」と激励しました。

本頁では、協力隊からの質問や提案とそれに対する町長の思いの一部を紹介します。

### ● 協力隊の皆さん



わたなべ みゆ  
渡辺実優さん

牧之原市出身  
令和3年6月着任

- ・大学のゼミで川根本町の関係人口の拡大について研究したことがきっかけ。
- ・町の観光情報の発信を任務として活動中。



すずき こうき  
鈴木光貴さん

磐田市出身  
令和3年6月着任

- ・友人の紹介で、川根本町と協力隊に興味を持つ。
- ・既存の観光資源を使った体験型のプログラム構築を任務として活動中。



いがみ かおり  
伊神花織さん

愛知県出身  
令和2年2月着任

- ・友人の甥が川根高校に入学したことをきっかけに、川根本町を知る。
- ・学校教育、主に高等学校の教育に関わりたいとの思いから、川根高校の魅力化コーディネーターに就任。